公立高校入試情報　兵庫県

【数学】

令和7年度兵庫県入試の全体傾向

○大問数は例年どおり６問。小問数は昨年より３問増えて32問。
○大問１は小問集合，大問２は確率，大問３は関数のグラフと図形，
　大問４は文字式と連立方程式の利用，大問５は相似の証明(穴うめ)を
　含む三平方の定理，大問６はデータの活用と２次方程式。
○大問６は花粉の飛散数の測定方法の１つ(ダーラム法)を題材にしている。
　問題分が長く，読解力が必要である。また，身のまわりの問題を数学的な
　視点で考えて，応用する力が試されている。

■　関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり，１次関数や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。
　グラフ上にできる図形の面積や動点と面積の変化の問題も出題されるので，対策が必要である。

■　実生活への活用力をみる問題の出題

・身近な題材について，方程式・関数・図形などの知識を使って考える問題がよく出題されているので，数学的に考える力を養っておく必要がある。

★兵庫県入試出題内容別・形式別傾向分析（過去4年間）

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式		●		●
		方程式		●		
		比例と反比例	●	●	●	●
		平面図形				●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式		●		●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●	●	●
		三角形		●		●
		平行四辺形			●	
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図	●		●	
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●		●	●
		関数$y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査		●		●
出題形式別の傾向	大問数		6	6	6	6
	小問数		29	33	29	32
	記述問題	図形の証明(説明)				
		その他の説明・証明など			1	
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)				
		作図(グラフ)				